

1 札幌市斎場等あり方検討委員会における検討経過

この基本構想の策定にあたって、専門的な立場から意見を聴くため、学識経験者や葬送関連事業者などで構成する「札幌市斎場等あり方検討委員会」を設置し、協議いただきました。

(1) 委員名簿

氏名	所属・役職
◎石井 吉春	北海道大学 公共政策大学院 名誉教授
○上田 裕文	北海道大学 観光学高等研究センター 准教授
澤 知里	認定NPO 法人 葬送を考える市民の会 代表理事
高田 安春	公募委員
高橋 敏彦	公益社団法人ふる里公苑 理事長
辻 信雄	公募委員
中島 浩盟	北海道葬祭業協同組合 副理事長
福田 淳一	北海道新聞 編集委員
山上 晃広	弁護士法人 池田・山上法律事務所 弁護士

(50音順、敬称略、◎：委員長、○：副委員長)

(2) 検討経過

回数	開催日	主な内容
第1回	平成30年(2018年)9月11日	・会長及び副会長の選出 ・本委員会の全体のスケジュール ・斎場や墓地に関する現状と課題の共有
第2回	平成30年(2018年)12月3日	・斎場の目指す姿と実現に向けた取組の検討
第3回	平成31年(2019年)3月20日	・墓地などの目指す姿と実現に向けた取組の検討
第4回	令和元年(2019年)6月10日	・基本構想の名称、骨格案、ビジョン(未来像)、 ビジョン実現のための目標の検討
第5回	令和元年(2019年)7月31日	・基本構想における各主体の役割、分野別目標 及び基本姿勢の検討
第6回	令和元年(2019年)9月12日	・基本構想(原案)について
第7回	令和元年(2019年)10月18日	・基本構想(原案・修正版)について

2 葬送に関する用語集(五十音順)

用語	意味	ページ
合葬墓	家族以外の方の遺骨も、同一の墓所に埋蔵する墓のこと。	15
繰り上げ法要	葬儀の後、7日ごとに49日目まで行われる法要を、葬儀と同日に繰り上げて行うこと。	12
行旅死亡人	身元が判明せず、引取者のない死者のこと。	15
孤立死	一人暮らしの高齢者が、社会や地域から孤立した状態で亡くなること。	3
竿石	お墓の一番上にある石のこと。	18
散骨	粉状にした遺骨を海や山林などに撒くこと。	21
終活	人生の最期を迎えるにあたって、必要なさまざまな準備をすること。この基本構想では、特に葬送関係の準備をすることを指す。	7
樹木葬	墓石の代わりに樹木を墓標やシンボルとする墓の形態のこと。	20
友引	七曜日と同様の暦注である六曜のうちの一つの曜日。「友を引く」「災が友に及ぶ」と読めることから、この日に葬儀、火葬を行うことを避ける傾向がある。	9
墓じまい	継ぐ人や縁のある人がいなくなる、または、遺族に管理の手間をかけさせたくないなどの理由から、現在ある墓を撤去すること。墓に埋蔵されていた遺骨は、他の墓所に移すことになる。	15
お墓の有期限利用	契約時に指定した期間が経過すると、遺骨は合葬墓へ移され、墓石は撤去される墓所の使用契約のこと。墓の後継ぎが不在となっても、無縁化することがないのが特徴。	19
無縁墓	継ぐ人や縁のある人がいなくなったお墓のこと。	3
無縁仏	供養してくれる人がいなくなった死者のこと。無縁墓のことを指す場合もある。	3

3 市民アンケート結果の概要

(1)札幌市における墓地等のあり方の検討に向けた基礎調査

項目	内容
目的	札幌市民の火葬場・墓地・納骨堂に関するニーズを把握するため
対象者	札幌市住民基本台帳より無作為抽出した18歳以上の札幌市民3,000名
調査期間	平成30年(2018年)1月12日～1月26日
調査方法	郵送配布・郵送回収式調査
回収数・率	1,136件、37.9%

(2)札幌市営斎場・霊園利用者アンケート調査

項目	内容
目的	札幌市営の斎場や墓地を利用した市民の斎場や墓地に関するニーズや評価を把握するため
対象者	斎場：平成29年に里塚・山口斎場を利用した方のうち、死亡者の年齢が60歳以上かつ死亡者と火葬申請者の続柄が親族である札幌市民500名 墓地：札幌市営霊園(平岸霊園、里塚霊園、手稲平和霊園)を使用する市民(使用者名簿に市内住所の記載があった方)500名
調査期間	平成30年(2018年)11月2日～11月16日
調査方法	郵送配布・郵送回収式調査
回収数・率	斎場:224件、44.8%、霊園:281件、56.2%

※札幌市が実施したアンケート結果を含めた斎場・墓地に関する調査報告書は、下記のURLのページ最下段からダウンロードできます。

URL <http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/botikeiei/arikatakentou.html>



4 パブリックコメントの実施結果

この基本構想を策定するため、以下のとおり市民のみなさまからご意見を募集し、いただいたご意見を参考に、当初案を一部変更しました。

なお、ご意見の概要とそれに対する札幌市の考え方については、別冊「札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想(案)に対するご意見の概要と札幌市の考え方」に掲載しています。

(1)意見募集の概要

ア 意見募集期間

令和元年(2019年)12月23日(月)～令和2年(2020年)1月31日(金)

イ 意見提出方法

郵送、持参、FAX、Eメール、ホームページ上の意見募集フォーム

ウ 資料の配布・閲覧場所

場所	本書	概要版
市役所本庁舎2階 市政刊行物コーナー	○	○
市役所本庁舎1階 パンフレットコーナー		○
保健所 生活環境課	○	○
平岸霊園 管理事務所	○	○
各区役所 市民部総務企画課広聴係		○
各まちづくりセンター		○
ふれあいパンフレットコーナー (地下鉄大通駅定期券発売所並び)		○
札幌駅前通地下歩行空間 北3条交差点広場(東)		○

※このほか、市内の葬祭業者、民間霊園、葬送関連NPO法人にも、資料の配布にご協力いただきました。

(2)意見の内訳

ア 提出者の年代別内訳

年代	39歳以下	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明	合計
人数	0	3	0	8	2	2	1	16
件数	0	9	0	76	4	2	1	92

イ 提出方法別内訳

提出方法	郵送	持参	FAX	Eメール	ホームページ	合計
提出者数	1	1	2	7	5	16

ウ 意見の内訳

分類	件数	構成比
全体について	5	5.4%
第1章 基本構想の概要	10	10.9%
1 構想策定の背景・趣旨	7	7.6%
2 構想の位置づけと特徴	3	3.3%
3 構想の対象期間	0	0.0%
第2章 ビジョン(将来の目指す姿)	1	1.1%
第3章 札幌市の葬送を取り巻く状況	18	19.6%
1 葬送に対する意識	1	1.1%
2 火葬場	9	9.8%
3 墓地と納骨堂	8	8.7%
第4章 基本目標と施策の方向性	21	22.8%
第4章全体について	1	1.1%
基本目標1:葬送について考え行動する市民の意識を醸成します	8	8.7%
基本目標2:多死社会においても安定運営可能な火葬場を実現します	8	8.7%
基本目標3:少子高齢社会に対応した持続可能な墓地を実現します	4	4.3%
第5章 各主体の関わり方	1	1.1%
第6章 基本構想の推進にあたって	36	39.1%
1 協議体の設置	1	1.1%
2 問題の解決手法の検討	35	38.0%
3 取組の具体化と実践に向けて	0	0.0%
4 ビジョンの実現に向けた施策の全体像	0	0.0%
5 SDGs と本基本構想の関連	0	0.0%
合計	92	100.0%

※構成比の値は、四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。



札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想 2020年3月発行

札幌市保健福祉局ウェルネス推進部施設管理課

〒060 - 0002 札幌市中央区北2条西1丁目1番地7 ORE札幌ビル7階

TEL:011-211-3518 FAX:011-211-3521

札幌市 火葬場 墓地 あり方

検索



さっぽろ市
01-F06-20-501
R2-1-70